

ぐるグルドライブクイズR-7「富士十湖を探る(後編)」 解答用紙(Excel版)

チーム名	<b>正解</b>	走行日	
ドライバー		ナビゲーター	
送付先住所	〒		
	氏名	TEL	
ハンドルネーム			←成績表に実名を出したくない場合
DRCへの参加		DRCへの掲載	

クイズ解答欄

黄色部分は必須項目、送付先に記載の方を代表者とみなします

Q-A 距離計測	ドライブクラス	ラリークラス
CP	距離が短い順に番号を記入(1,2,...)	距離を記入(0.01 km単位)
S~1 CP	<b>6 (or 7)</b>	<b>14.08</b> km
1~2 CP	<b>4</b>	<b>4.16</b> km
2~3 CP	<b>5</b>	<b>4.52</b> km
3~4 CP	<b>7 (or 6)</b>	<b>14.11</b> km
4~5 CP	<b>1</b>	<b>2.48</b> km
5~6 CP		km
6~7 CP	<b>3</b>	<b>3.67</b> km
7~8 CP	<b>9</b>	<b>17.86</b> km
8~9 CP	<b>2</b>	<b>3.30</b> km
9~F CP	<b>8</b>	<b>15.29</b> km

Q-X1	トイレ
Q-X2	Q-G
Q-X3	9 CP
Q-X4	F CP
Q-Y	「ぐる」を入れる

参加クラス	
使用車	
使用トリップメーター	
トリップメーター表示	

Q-B1	<b>本物</b>
Q-B2	<b>中野辰雄</b>
Q-C	<b>マンホールのふた</b>
Q-D	<b>(植栽で構成された)「リバーサイドパークしもべ」のうちの1文字</b>
Q-E	<b>橋桁の底面</b>
Q-F	<b>7 (or 8)</b>
Q-G	<b>(例)見取図のうち部屋名ではないものを並び替えて文を作れ</b>
Q-H	<b>2370m</b>
Q-I	<b>パラグライダーの着地</b>
Q-J	<b>富士宮市猪之頭539-2地先</b>
Q-K	<b>基底には古富士泥流が分布し、この上を新富士火山新期の黒土層(クロボク)が一面を覆っています。湿原特有の植物や多種のトンボや蝶などが生息しており、環境省の「重要湿原」に選ばれています。</b>
Q-L	<b>他のデッキにの説明板脚部のプレートに「2/3」「3/3」と表記されており、本来「1/3」があることを推定させる</b>
Q-M	<b>(富士山の)大沢崩れ</b>
Q-N	<b>電話ボックス</b>
Q-O	<b>(浮島ヶ原自然公園の)タヌキとイタチ</b>
Q-P	<b>木道から降りること</b>

ぐるグルドライブクイズRound-7「富士十湖を探る(後編)」  
最終成績

◆ラリークラス

順位	チーム名	代表者	QA											QB	QC	QD	QE	QF	QG	QH	QI	QJ	QK	QL	QM	QN	QO	QP	QX1	QX2	QX3	QX4	QY	小計	総減点	解答受領日	DRC参加
			S / 1	1 / 2	2 / 3	3 / 4	4 / 5	5 / 6	6 / 7	7 / 8	8 / 9	9 / F	小計	1 巨大印影	2 印章名前	印鑑マーク	イの字	スピードカー	ゲート数	門西家	山頂距離	何の目標	所在地	rare	湿原デッキ	土砂の出所	何の小屋	誰のお願い	禁止マーク	ルビ	消火栓	水道	富士の絵				
1	中古でGO!	長谷部 章	0	0	0	2	1	/	1	1	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	9月10日	○	
2	食うらん	岸 憲司	0	1	0	2	0	/	0	2	0	0	5	0	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	9	9月23日	○	
3	DANGAN CLUB	矢木 雅人	2	1	2	5	0	/	0	3	0	1	14	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	11月8日	○		
4	アンドロメダ	泉 直樹	0	1	2	2	0	/	1	1	1	2	10	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5	15	12月8日	○		
5	つれづれ	山本 英雄	0	0	2	2	1	/	1	0	1	1	8	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8	16	10月1日	○		
6	チーム やっても一た!	関 康成	1	1	2	6	0	/	0	3	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	17	11月9日	○		
7	BRLガシー	辻本 隆光	0	0	2	2	0	/	1	1	0	0	6	0	0	0	2	0	1	0	0	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	12	18	10月24日	○	
8	1円70銭	青木 英一	1	1	0	3	0	/	1	3	0	1	10	0	0	0	2	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	18	12月8日	○	
9	(WI)TH	松本 純弘	1	2	2	2	0	/	0	3	0	2	12	1	1	0	2	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	19	10月26日	○		
10	マリモスターズ	マリモスターズ	1	0	1	2	1	/	0	1	1	10	17	1	1	0	2	0	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	9	26	12月8日	○		
11	NakBI32	NakBI32	2	1	1	6	0	/	0	10	0	2	22	0	0	2	2	2	3	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1	18	40	11月4日	○	
12	オジョウトジヤ	黒田 正彦	2	1	2	4	1	/	2	9	1	7	29	1	1	2	2	2	1	0	2	0	2	2	2	2	0	0	0	0	2	2	0	24	53	10月8日	○
13	TEAMうましか	堀口 泰夫	6	4	5	10	2	/	2	10	2	6	47	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	53	12月7日	○		
14	頭文字J	藤原 啓史	10	10	10	10	10	/	10	10	10	10	90	1	1	0	2	0	3	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	12	102	8月27日	○	

◆ドライブクラス

1	ジバジバ亀さん	秋元 二三夫	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	3	0	2	0	2	2	2	0	2	2	0	0	0	1	21	21	11月24日	○
2	Prin	熊沢 裕	0	0	0	0	0	/	0	0	0	0	0	1	1	2	2	0	2	0	1	2	2	2	0	2	2	0	2	2	0	1	29	29	10月13日	○

※斜体字は、救済処置適用による減点を表す

◆全体

前編R-6のゴール近くからのスタートでしたが、メインの湯之奥猪之頭林道の度重なる通行止めもあり、参加は16チームに留まりました。もともと台風接近で必ず通行止めになることは分かっていたのですが、週末毎に3回(実は試走中にも2回)台風に見舞われたのは想定以上で、さらには工事通行止めも1ヶ月。運よくこの林道を走行できた方からは、トンネルを抜けて飛び込んでくる富士山の絶景に感動したという声をいくつも頂きました。いつも通り一筋縄ではないクイズの解説を以下に記します。



◆クイズ解説

Q-A(距離計測)

今回減点が多かったのは3-4CP(湯之奥猪之頭林道)と7-8CP(富士山南麓のワインディング路)。特に3-4CPは、台風による落石・落枝で走行ラインが選べなかった11月上旬に走行された方の減点が大きくなったようです。救済処置申請は各クラスで1チームずつあり、それぞれ規定通り他の有効解答の平均値(切り上げ)を採用しています。7-8CPは車線幅が広いワインディングだったので走行ラインの違いが影響したのではないかと思います。

このような悪条件の中、減点を1桁に抑えたチームが4つもある一方、補正計算ミス(一律同じ割合で誤差)と思われる解答もあり残念でした。なおドライブクラスは今回優秀で、2チームとも減点0でした。



Q-B(巨大印影、印章の名前) 正解率=50%、50%

ちょっと変則的ですが、印章資料館の方がとても親切だったので、スタート前クイズを2問用意しました。勘に頼る要素もあるので、両方不正解の場合のみ減点1という控えめな設定です。

Q-B1の巨大な印影は、本物でした。印章資料館の館員の方が、わざわざ印章組合の役員の方を呼び出して下さり、クレーンで吊って押印したイベントに立ち会った際のお話をお聞きできました。なので、この印影は本物です。印影の方は周囲の四隅に丸みがあり、実物と違うと判断したくなるのですが、その部分だけは加工されたのかもしれませんが。なお館内のパネルにはクレーンで吊って押印している写真がありますが、この時は印影がかすれて失敗しています。お話によると、後日再トライして成功したそうです。



Q-B2は、思わせぶりな問題文「長嶋茂雄と織田信長の間」から、さぞ有名な名前の名前だろうと思われた方が多いと思います。なぜ「中野辰雄」なのか、先ほどの印章組合役員の方に質問しましたが、理由は分からないそうです。

Q-Bのどちらかを正解し減点を逃れた方は、全体の63%となりました。



Q-C(印鑑マーク) 正解率=75%

マンホールのふたは地域毎にオリジナルデザインで凝ったものが多く、格好の出題ネタです。ここも印章の町らしいデザインなので出題しました。殆どの方は見つけているのですが、「マンホール」という解答は不正解としています。出題文が「何に彫られているものか」を問うているので、「どこにあるでしょう」なら場所を特定できているという意味で正解にできるのですが、今回は残念でした。

ぐるグルドライブクイズ round-7「富士十湖を探る(後編)」

Q-D(イの字) 正解率=38%

一見この「イ」の字が何なのか理解できませんでした。付近をよく見ると植栽で文字がかたどられています。この「イ」だけ地面がコンクリなので苦肉の策なのでしょう。でもそのおかげで気付くことができ出題が可能になりました。誤答が多かったのは「リバーサイドパーク」だけの解答。植栽としては「しもべ」まで続いているので解答に含める必要がありました。なかなか面白いクイズになったと自画自賛していたのですが、皆さんの感想には取り上げられず。。。



Q-E(メロディ橋) 正解率=88%

この手の仕掛けは故障してがっかりすることが多いのですが、ここのはちゃんとメロディが流れました。実際に橋を渡って(渡りかけて)メロディがスタートしてから耳を頼りに音源を捜してもらおうというクイズです。



おそらく全員が橋桁の底面にあるスピーカーを見つけたと思うのですが、「橋の下」「橋桁」という解答は、具体的な位置を示しているとはいえませんので題意に照らして不正解としました。

Q-F(ゲート数) 正解率=31%

こちらで対象としたゲートは、①温泉街を抜けた先②2CP地点③その少し先の林道入口④3CP地点⑤峠のトンネル手前⑥下り途中にあるパラグライダー発進場付近⑦ほぼ下りきった地点、の7箇所でした。これに参加者からの指摘で、コース脇のゲートも「コース上」の一部と解釈し、正解に1箇所追加しました。(7箇所または8箇所を正解とし、これと誤差の小さい方で減点を計算)

5箇所や6箇所という数え漏れの解答が多かったのですが、支柱だけの場所もカウントした方が何名かおられました。ちょっと問題文が難しかったかもしれませんが、可動かどうかは問わないが開閉するための構造であるものを対象にしています。支柱だけでは、開閉できる構造になっているというのは無理があります。

Q-G(たぶんなつだ)

良い出題を思いつかなかったので、ちょっとお遊びとしてみました。減点なしですが、もし同着の場合は影響することにしたので、無視はできない微妙な出題です。殆どの方はちゃんと考えてくれました。折角なので幾つか紹介します。

- ・1番目と2番目に短いスペースの名前の全文字を1回使って文章を作れ
- ・この間取り図にある名称のうち部屋以外の2つの名称を使ってアナグラムを作れ。
- ・この間取り図を見て、夏・冬どちらが住みやすいですか？
- ・昼間、大戸口を開けっ放しにしている季節は？
- ・居住空間でない場所の名称に使われている文字を使って、次の問いに答えよ。  
「作成者が好きな季節は？」

アナグラム派と、とにかく夏に強引に導く派に分かれました。お悩ませしました。ちなみに同着はありませんでした。

ぐるグルドライブクイズ round-7「富士十湖を探る(後編)」



Q-H(山頂までの距離) 正解率=56%

写真の説明板では正解を得られませんが、実はヒントがあったのです。中山金山を経て毛無山山頂に至るという記述があることから、3CP横にあった看板にあった中山金山までの距離と毛無山山頂までの距離を引き算すればよいことが分かる、という仕掛けでした。

語って居る。更にこの湯の奥、猪の頭林道を約五キロと行程登って行き、平河原より山腹に入る。中山金山の遺蹟があり毛無山の山頂に達する。又、この次には、明治時代

Q-I(目標地点) 正解率=94%

事前に予想できた方もいるかもしれませんが、当日パラグライダーが飛んでいなくても、写真の地点で振り返ればそれと分かる看板が立っていました。風景を探すという、少し目線を変えた出題にしてみました、皆さん簡単に見つかったようですね。

Q-J(看板の所在地) 正解率=13%

問題文に注意する必要がありました。看板の所在地が問われています。表面の記載は陣馬の滝の説明であり、所在地も陣馬の滝のもので、看板が立っている所在地は、裏面に記載されていました。

これは簡単すぎるから裏がある、と疑問に思って看板の裏を見た方は少なかったようです。今回最大の難問となりました。



Q-K(rareの訳) 正解率=44%

日本語ではこの湿原の希少性が詳しく説明されています。英訳もついているのですが、日本語と見比べると途中で急に省略されていることが分かります。よく見ると "rare" の1単語でその希少性だけを伝えることにしたようです。意図は分かるのですが、その大胆さが面白くて出題しました。

ここは英訳が省略されたすべての日本語を正確に解答していただく必要がありました。部分的に拾われた方は残念ながら不正解としました。

Q-L(湿原デッキ) 正解率=50%

この小田貫湿原、そこに至る川渡りを含む道中と合わせて、穴場感いっぱいです。皆さんにも湿原を見ていただきたくて、遊歩道から出題しました。3ヶ所ある張り出したデッキのうち、1ヶ所だけ説明板がありません。他の2ヶ所の説明板の脚部の小さいプレートに、全部で3つあることを示唆する数字が記載されていました。

取付ネジの跡を探した方や、まさかこれ？と驚いた方など、感想が多く寄せられました。なお題意を取り違え、このデッキだけ説明板がない理由を考えた方がおられました。出題文には気を付けたつもりでしたが、まだ配慮が足りないようです、反省。



Q-M(土砂の出所) 正解率=88%

この大きな看板はかなり薄れているので、出題自体は簡単にしました。富士山の大沢崩れがここまで流れてきて災害の原因となっていることに、富士山の大きさを感じてしまいます。

ぐるグルドライブクイズ round-7「富士十湖を探る(後編)」

Q-N(小屋) 正解率=81%

まあ予想はついたかもしれませんがね。携帯電話の電波が通じるし、利用頻度は恐らく低いでしょうし、固定電話の撤去は致し方ないでしょう。小屋だけ残っているのは、NTTが建てたのではなく公園管理者(行政)が建てたものだからでしょう、恐らくですが。



Q-O(イヌさんへお願い) 正解率=88%

小さな看板ですが、管理棟の目の前なのですぐ見つかったことと思います。特にひねらず出題したのですが、ドライブクラスの2チームだけが不正解でした。

Q-P(禁止マーク) 正解率=100%

最期の問題でやっと出ました、全員正解。前問の隣の看板にありました。

Q-X 正解率=①94% ②88% ③81% ④88%

全体的に良い出来でした。Q-X1はスタートCP位置のすぐ右手にありました。Q-X2の消火栓は門西家住宅の付近に2つあったようですが、気付かずに正解した方もいるかもしれません。またクイズ番号ではなくCP番号を答えてしまった方がいますが、勿体ないですね。Q-X3は9CPの駐車場の1段高くなっている場所にありました。Q-X4はFCP横の管理棟の前に並んでいる看板にありました。

Q-Y 正解率=69%

これは全員正解を想定した問題だったのですが、意外と誤答がありました。注釈に反した「地名を入れる」という解答、命名規則ではなく命名理由の解答など。。。毎回「ぐる」を入れるのも苦しくなってきたので、今のうちに出題しておこうという意図でした。

